

各 位

上場会社名 株式会社 サンワドー
 代表者 代表取締役社長 中村 勝弘
 (コード番号 7430)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 工藤 隆幸
 (TEL 017-782-3200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成23年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,150	305	295	△15	△2.84
今回修正予想(B)	15,400	490	480	80	15.15
増減額(B-A)	250	185	185	95	
増減率(%)	1.7	60.7	62.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	14,430	300	272	92	17.58

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,300	510	500	100	18.94
今回修正予想(B)	30,600	670	700	200	37.88
増減額(B-A)	300	160	200	100	
増減率(%)	1.0	31.4	40.0	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	29,303	493	444	137	26.10

平成24年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成23年8月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,100	300	290	△20	△3.79
今回修正予想(B)	14,400	480	470	75	14.21
増減額(B-A)	300	180	180	95	
増減率(%)	2.1	60.0	62.1	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年2月期第2四半期)	13,539	152	146	△25	△4.73

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	450	440	60	11.36
今回修正予想(B)	28,300	600	630	155	29.36
増減額(B-A)	300	150	190	95	
増減率(%)	1.1	33.3	43.2	158.3	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	27,267	378	384	108	20.55

修正の理由

1. 連結業績予想の修正理由

a. 平成24年2月期第2四半期連結業績予想の修正理由

(売上高の修正)

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による被害は甚大なもので、福島第一原子力発電所事故による電力不足ならびに放射能汚染の問題等、東北地方を中心に国内全体の経済環境は厳しい状況が続くと見込んでおりました。しかし、幸いにして当社はその震災の直接的被害は軽微なものであったため、震災直後からの商品確保、復興需要商品の販売に全店総力を挙げて取組んだ結果、売上は当初の業績予想を上回る状況で推移いたしました。また、青森中央店の食品部門を強化し、さらに八戸八食店、ザ・サンワ柏店に業務スーパーを導入したことによって、食品部門を中心に売上を伸ばしました。

これにより、売上高は15,400百万円(前回発表予想値比1.7%増)となる見通しであります。

(営業利益の修正)

震災直後の個人消費において商品価格より商品確保を優先する動きが多く見られたことや、発電機、コードリール等の停電対策および防災商品等の比較的粗利の高い商品が好調となり、粗利額、率ともに高まる見通しであります。あわせて広告宣伝費等の販売費及び一般管理費も業績予想より削減される見通しであります。

この結果、営業利益は490百万円(前回発表予想値比60.7%増)となる見通しであります。

(経常利益の修正)

営業利益の修正要因と営業外収益増加により、経常利益は480百万円(前回発表予想値比62.7%増)となる見通しであります。

(四半期純利益の修正)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」を適用した資産除去債務、並びに平成23年3月11日発生した東日本大震災による被害、また有価証券評価損等の特別損失は170百万円をすでに計上しておりますが、営業利益並びに経常利益の修正要因にて、四半期純利益は80百万円(前回発表予想は四半期純損失15百万円)となる見通しであります。

b. 平成24年2月期通期連結業績予想の修正理由

下半期の経済環境は、東日本大震災の影響による長期的な低迷が続く中、防災需要による個人消費の押し上げや復興特需により、緩やかながらも回復基調に転じることが見込まれることから、下半期の業績は当初予想の通り推移すると見込まれます。したがって、平成24年2月期通期連結業績予想は、平成24年2月期第2四半期連結業績予想の修正理由により、売上高は30,600百万円(前回発表予想値比1.0%増)、営業利益は670百万円(前回発表予想値比31.4%増)、経常利益は700百万円(前回発表予想値比40.0%増)、当期純利益は200百万円(前回発表予想値比100.0%増)となる見通しであります。

2. 個別業績予想の修正理由

個別業績予想につきましては、第2四半期・通期ともに連結業績予想に係る内容と同一のため、記載を省略いたします。

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであり、実際の業績等は、今後の様々な条件、要因により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上